

中部電力 原子力安全技術研究所 第3回特定テーマ公募研究 公募要領

1. 公募の趣旨

当社は、浜岡原子力発電所のさらなる安全性向上と運営の改善に資する研究を進めるとともに、将来にわたり原子力発電を推進・利用するために、必要性の高い新技術の研究開発活動のより一層の推進と、原子力の将来を担う人材の育成に貢献していきたいと考えております。

上記を踏まえ、原子力安全技術研究所では、毎年、原子力安全に関する研究テーマを幅広く募集しておりますが、この度、特定の研究領域を対象に、研究期間・研究費の規模を拡大した公募を実施することとしました（特定テーマ公募）。なお、特定テーマ公募は、これまで2014年度と2020年度に募集しており、今回が第3回となります。

2. 応募資格

全国の大学、公的研究機関において科学技術研究に従事している研究者で、3.の研究領域（研究テーマ）に関する研究が遂行可能な研究者または研究グループのリーダーといたします。

3. 研究領域（特定テーマ）

次の4領域を研究対象とします。

（1）BWRの安全性向上に資する新技術に関する研究

○デジタル技術を活用した安全性向上に資する研究

○放射線測定・核種分析の新技術に関する研究

等

（2）大規模自然災害の早期検知・対策に関する研究

○発電所周辺の津波監視予測手法に関する研究

○発電所周辺の地震・自然現象（火山・竜巻・森林火災）に関する研究

等

（3）使用済燃料・放射性廃棄物の処理・処分に関する研究

○使用済燃料の再処理に関する研究

○高レベル放射性廃棄物の減容・地層処分にに関する研究

等

（4）原子力の既存技術の有効利用に関する研究

○中性子照射影響・評価に関する研究

○希少金属等の回収・捕集技術に関する研究

等

4. 研究期間

2026年度に開始し、期間は5年以内といたします。

5. 研究費・採択件数

2026年度に開始し、期間は5年以内といたします。

総額1億円以内、ただし2千万円／年を基本とし、研究件名1件を採択いたします。

- ・研究費の妥当性を選考基準の一つとしています。応募する研究内容に応じた適切な研究費を計上してください。
- ・研究期間内に償却が終了しない設備の購入は原則としてできません。リース等により設備を使用する場合には、研究期間内のリース料を計上してください。
- ・研究費の詳細については、協議によって決定いたします。

6. 選考方法

社外の学識経験者等を委員とする「アドバイザー・コミッティ」を編成して選考にあたります。

(1) 選考の方法

a. 一次選考

応募内容をもとに、書面により一次審査を行います。

応募用紙の英語記載での提出を受け付けます。ただし、原則、応募用紙は日本語併記にて提出していただくようお願いいたします。

b. 二次選考

一次選考で選ばれた研究テーマに対し、アドバイザー・コミッティによるヒアリング（原則として、当社が設定する会場で対面によるプレゼンテーション＋質疑応答）により最終審査を行います。

なお、二次選考に先立ち、ヒアリング資料、研究計画書および研究経費内訳明細（以下、「選考資料」という。）をご提出いただきます。

選考資料の英語記載での提出も受け付けます。

ただし、原則、選考資料は日本語併記とし、日本語での質疑応答が可能なサポートを受けられる状況とするようお願いいたします。

(2) 選考基準

次の点を重視して選考を行います。

- a. 当社ニーズとの整合性
- b. 研究内容の新規性・独創性
- c. 研究計画・方法の妥当性
- d. 提案の研究開発を遂行するために必要な応募者の能力
- e. 研究経費の妥当性

7. 応募方法

当社指定の応募用紙（添付1）に必要事項をご記入のうえ、E-Mailによりご提出ください。

応募用紙の英語記載での提出を受け付けます。ただし、原則、応募用紙は日本語併記にて提出していただくようお願いいたします。

【提出先】 中部電力㈱ 技術開発本部 原子力安全技術研究所 研究公募事務局 宛

(E-Mail) Chuden.Kenkyukoubo@chuden.co.jp

(1) 注意事項

応募用紙には、応募者または第三者の技術上、営業上、その他の機密情報は記入しないようお願いいたします。また、記入内容はすべて公開情報と見なし、ヒアリングにおいて口頭で開示される内容に関しても同様の取扱いといたします。なお、ご提出いただいた書類は返却いたしません。

(2) 個人情報の取扱い

当社は、応募者の個人情報を審査と研究協力にかかわる目的以外に利用することはありません。個人情報保護に関する当社の基本方針については、個人情報保護基本方針をご参照ください。 <http://www.chuden.co.jp/privacy/policy/index.html>

8. 応募期間

2025年11月5日（水）～2026年1月9日（金）17時 [必着]

9. 通知方法

E-mailにて採否通知を行います。

一次選考結果： 2026年 1月下旬（予定）

二次選考結果： 2026年 4月上旬（予定）

なお、採否の詳細についてのご照会には回答できませんので、ご了承ください。

二次選考後には採択された研究件名、大学・研究機関名および研究代表者名を公表いたします。

10. 採択後の条件等

（1）研究形態

当社との共同研究または当社からの委託（大学・研究機関等から見ると受託）研究といたします。

（2）報告・発表

ア. 報告

年1回、研究報告書を提出していただきます。

ただし、研究報告書は日本語併記にて提出していただくようお願いいたします。

イ. 発表

当社が御前崎市で開催する研究発表会（研究終了年度の翌年度7、8月の下旬頃開催）等にて発表いただくことがあります。

研究成果発表会は地域の一般の方に理解していただくため、日本語で行うようお願いいたします。

11. 契約

（1）契約協議

十分な研究期間確保のため、2026年4月末までの契約締結を目指してご協力をお願いします。

- ・ 契約に際しては、「共同研究標準契約書（添付2-1）（添付2-2）」または「委託研究標準契約書（添付3）」を基に協議をすすめていただきますのであらかじめご承知置きください。
- ・ 契約については、当社と研究代表者の所属する大学・研究機関との二者間の契約とします。共同研究者の所属機関、外注先等との契約が必要な場合は、別途、研究代表者の所属機関との間で契約等を締結いただくようお願いいたします。
- ・ 契約が整わない場合には、当社から採択を取り消すことがあります。

（2）知的財産の考え方

当社は、研究成果に係る権利の帰属の判断の前提となる発明への貢献度の考え方について、当社の貢献には研究費負担を含むものと考えております。これらの知的財産を含む契約内容に関しては、大学・研究機関の事務局とも協議させていただきます。なお、契約が整わない場合には、当社から採択を取り消すことがあります。

12. お問い合わせ先・相談窓口

中部電力(株) 技術開発本部 原子力安全技術研究所 研究公募事務局 宛

(E-Mail) Chuden.Kenkyukoubo@chuden.co.jp

- 応募に際し、研究内容等に関するご相談（考えている研究テーマ、アイディアの原子力・発電所（現場）への適用性や有用性向上に係るご相談、応募資格に係るご相談他）を常時受け付けております。どのようなことでも結構ですので、お気軽にご相談ください。
- なお、公募要領の記載に係るご質問は、7. に示す応募受付期間終了までお問い合わせいただけます。

13. 添付書類

添付1 「中部電力 原子力安全技術研究所 公募研究（特定テーマ）」応募用紙

添付2 共同研究標準契約書（大学・研究機関）

添付3 委託研究標準契約書

以 上

「中部電力 原子力安全技術研究所 第3回特定テーマ公募研究」応募用紙

提出日： 年 月 日

(ふりがな) 研究代表者氏名		
所属機関・部局・職		
所在地（住所）	〒	
連絡先 （電話・E-mail）	Tel :	FAX :
	E-mail :	
研究テーマ名		
研究概要 （研究目的と研究 実施内容について 簡潔にまとめてく ださい。）		

※以下、できるだけ枠内に収まるように記入していただき、収まらない場合には総ページ7ページ以内でお願いいたします（フォントの大きさ、行間サイズの指定はございません）。

研究組織（研究代表者及び研究分担者）異なる組織も含め記入願います。				
氏名（年齢）	所属研究機関・部局・職	現在の専門	学位	役割分担 （本研究に対する分担事項）
合計	名			

領域との対応	下記①～③のうち、いずれかひとつを選択して下欄に記入してください。 ① BWRの安全性向上に資する新技術に関する研究 ② 大規模自然災害の早期検知・対策に関する研究 ③ 使用済燃料・放射性廃棄物の処理・処分に関する研究 ④ 原子力の既存技術の有効利用に関する研究
研究テーマ名	
研究の背景と目的	下記のアおよびイを明確にして、研究の全体構想およびその中での本研究の具体的な目的について簡潔にまとめてご記入ください。 ア. 本研究の背景（応募者のこれまでの研究成果を踏まえ着想に至った経緯） イ. 研究目標（本研究期間内＜2026年度～2030年度＞に何をどこまで明らかにしようとするのか）
研究の特徴	本研究の新規性・独創性について、従来技術との比較とともにご記入ください。
類似の研究開発との関係	現在および過去において類似の研究開発をされていた場合、本研究の位置づけをご記入ください。

研究計画・方法	研究目的を達成するための研究計画・方法について、各年度の計画に分けて具体的かつ明確にご記入ください。 【2026 年度】
	【2027 年度】
	【2028 年度】
	【2029 年度】
	【2030 年度】
施設・設備と研究環境	研究を実施するために使用する研究施設・設備等、現在の研究環境の状況についてご記入ください。

科研費など 他からの研究助成 (応募時点)	応募時点から過去 10 年間にさかのぼって、次の①, ②をご記入ください。 ①本研究テーマまたはこれに密接に関連した研究テーマで、研究代表者が従来受けた科学研究費補助金について研究課題、期間（年度）、助成金額を簡潔にご記入ください。 ②本研究テーマまたはこれに密接に関連した研究テーマで、研究代表者が従来受けた科学研究費補助金以外の研究助成について助成名称、研究課題、期間（年度）、助成金額を簡潔にご記入ください。
研究実績	研究代表者及び研究分担者が最近 5 カ年間に発表した公刊論文または研究発表（口頭）のうち、本研究に関連するものを 10 件までご記入ください。また、可能であれば、10 件の実績の中から一番関連の深い代表的な発表資料 1 件を応募用紙に添付してください。 用紙が不足する場合は、別紙（A4 用紙）を追加してください。

研究経費

※下表にカーソルを合わせ左ダブルクリックし、エクセル表として入力（行が不足する場合は挿入）してください。

（千円）

年度 費用内訳	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	計
設備損料・賃 借料※1						0
						0
						0
	0	0	0	0	0	0
材料費・消耗 品費						0
						0
						0
	0	0	0	0	0	0
廃棄物処理費						0
						0
						0
	0	0	0	0	0	0
人件費						0
						0
						0
	0	0	0	0	0	0
旅費						0
						0
						0
	0	0	0	0	0	0
その他（謝金 等）						0
						0
						0
	0	0	0	0	0	0
間接経費※2						0
						0
						0
	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0

注) 研究経費は消費税抜きで、5年間の合計は上限1億円です。

※1: 研究期間内に償却が終了しない設備の購入は原則としてできません。賃借（リース）等により設備を使用する場合には、研究期間内の賃借料について研究経費とすることは可能です。また、応募者が所有している設備を本研究に使用する場合には償却費相当分（設備損料）を研究経費とすることは可能です。

※2: 間接経費は研究経費に含みます。

備 考

研究代表者の 職歴・研究歴	生年月日、最終学歴、職歴、研究歴等をご記入ください。	
	生年月日	西暦 年 月 日
研究代表者の 受賞歴		
特許	応募研究テーマに関連する特許（出願中を含む）があればご記入ください。	

契約調整関係

(ふりがな) 契約窓口担当者名		
所属機関・部局・職		
所在地（住所）	〒	
連絡先 (電話・E-mail)	Tel :	FAX :
	E-mail :	

※応募用紙には応募者または第三者の技術上、営業上、その他の機密情報は記入しないようお願いします。
(記入内容はすべて公開情報扱いとさせていただきます。)

本公募を何で知りましたか。	下記①～④から選択し、具体的に下欄に記載してください。 ①大学からの案内（産学連携窓口、学部、その他） ②学会等 ③インターネット（中部電力ホームページ、その他） ④その他